

# 1. 事業概要

---

## 1.1 事業実施の背景・目的

福祉用具貸与においては、平成 24 年に要介護者等の自立の促進及び介助者の負担の軽減を図り、利用者の状態に応じた福祉用具の適切な選定等が行われるよう、「利用目標」、「利用目標を達成するための具体的なサービス内容」、「福祉用具の機種と当該機種を選定した理由」、「関係者間で共有すべき情報」の記載を定めた福祉用具貸与計画書の作成が義務化された。また、平成 30 年には、価格帯の異なる複数商品の提示や、利用者だけではなく介護支援専門員にも福祉用具貸与計画書の交付が義務づけられるなど福祉用具専門相談員のサービスの質の向上への取組が行われている。

本会では令和3年度に「サービスの質の向上に向けた福祉用具貸与計画書における項目の標準化に関する調査研究事業」を実施し、サービスの質の向上に向けた記録項目や記載内容の基準の可視化・標準化に資する福祉用具貸与計画書・モニタリング記録の改編様式を作成した。

本事業においては、令和3年度に作成した改編様式(サービス支援経過記録含む)を試用した貸与事例のデータを蓄積するとともに、そのサービス内容の分析を踏まえ、利用者の状態に応じて福祉用具を選定する際の福祉用具専門相談員の提供プロセスを明確にすることとした。

更には、サービス支援経過記録から得られる福祉用具専門相談員のPDCA実践過程を明確にし、評価の視点やサービス内容の可視化によって、福祉用具専門相談員のサービス及び、他職種との連携等の標準化と、福祉用具貸与事業所におけるサービス向上に対する PDCA を推進することを目的とした。

## 1.2 調査研究の進め方

本事業では、下記の通り研究を進めた。

### (1) 検討委員会・研究部会の設置・開催

本調査研究の推進、成果の取りまとめ等について検討を行うため、検討委員会、研究部会を各3回開催した。

### (2) データ収集と分析に向けた必要となる視点や方向性、課題等の整理

上記(1)において、データ収集の対象・範囲等の検討及び、データ分析の方向性、分析にあたっての課題等の整理・検討を行い、試行運用によるデータ収集を行った。

### (3) 福祉用具貸与計画書等によるデータ収集・分析

#### ① データ収集に向けた回答様式の作成

当会が令和3年度に作成した福祉用具貸与計画書等の改編様式を用いてデータ収集を行った。また、本調査研究では、福祉用具貸与計画書等のみでは把握しきれない福祉用具専門相談員のサービス提供過程を把握するため、支援経過記録様式も作成し、データ収集の対象とした。

## ② 説明会の実施

調査対象となる福祉用具貸与事業所及び、福祉用具専門相談員を対象に、本調査研究事業を実施する背景・目的や実施事項等の理解を得るために説明会を計4回開催した(オンラインで実施)。

また、分析に資するデータを適切に収集するため、本調査研究で用いた福祉用具貸与計画書等の改編様式及び、本調査研究事業のために作成した支援経過記録様式の記録方法等についても説明した。

なお、説明会で使用した資料一式については、本報告書の参考資料に掲載している。

図表 1 試行運用に向けた説明会の開催

回	開催日時	議題
第1回	令和4年8月23日(火) 10時00分～11時30分	1. 事業概要について
第2回	令和4年8月25日(木) 16時00分～17時30分	2. 回答様式(エクセルシート)について ・ふくせん福祉用具サービス計画書改編様式について ・回答様式の入力方法について
第3回	令和4年8月26日(金) 10時00分～11時30分	3. 試行運用のフローについて
第4回	令和4年8月30日(火) 15時00分～16時30分	4. 質疑応答

## ③ 福祉用具貸与計画書等の改編様式を用いたデータ収集

福祉用具貸与事業所等のデータ収集については、当会にて本調査研究事業における調査専用ホームページを作成し、各福祉用具貸与事業所からアクセスするための事業者別ID及び、パスワードを発行・送付し、調査対象の福祉用具専門相談員毎に回答用の福祉用具貸与計画書等(以下、「調査票」という)をダウンロードしてもらい、回答を得た。

回答済調査票は、再度、調査専用ホームページにアクセスしてもらい、データのアップロードを実施することで、当会での回収を行った。

## ④ データ分析の実施

検討委員会及び、研究部会においてデータ分析の方針について議論し、その結果も踏まえ、利用者の状態に応じて福祉用具を選定する際の福祉用具専門相談員の提供プロセスや、多職種連携によるPDCA実践過程の整理を実施した。

### (4) 福祉用具貸与計画書等改編様式の試用を通じた多職種連携に係るヒアリング調査

上記(3)の分析結果も踏まえ、福祉用具専門相談員と、対象事例に関わる介護支援専門員等の多職種を含むケアチームに対するヒアリング調査を実施し、PDCA推進に必要なポイントを整理した。

### (5) 報告書の作成

前記(1)で設置した検討委員会での討議を踏まえ、本調査研究事業における検討結果を報告書としてまとめた。

## 1.3 検討委員会の設置・開催

### 1.3.1 委員の構成

検討委員会の委員は以下のとおりである。

#### <委員メンバー>

荒木 弘史	フランスベッド株式会社 メディカル営業推進部長
伊藤 広成	一般社団法人日本福祉用具供給協会 事務局次長
久留 善武	一般社団法人シルバーサービス振興会 事務局長
濱田 和則	一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長
東畠 弘子	国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野 教授
森山 由香	社会福祉法人三篠会 新規事業開設準備室 室長
○ 渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーションセンター 副センター長

#### ○委員長

(敬称略)(所属は令和5年3月時点)

#### <オブザーバー>

長倉 寿子	厚生労働省老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修指導官
鈴木 達也	厚生労働省老健局高齢者支援課 係長
野村 望	厚生労働省老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修係
岩元 文雄	一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 理事長

(敬称略)(所属は令和5年3月時点)

#### <事務局>

山本 一志	一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
肥後 一也	一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
福島 伴彦	一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
池本 和樹	一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
中村 一男	一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
柳田 磨利子	一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
川口 隆	一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
谷澤 由香理	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社
富樫 智章	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社
黒岩 裕太	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社
柿迫 葉緒	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社

### 1.3.2 検討委員会の開催状況

検討委員会は下記のとおり、3回開催した。

図表 2 委員会の主な議題

回	開催日	議題
第1回	令和4年8月3日(水) 10時00分～12時00分	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 事業計画(案)について</li><li>▪ データ収集・分析(案)について</li></ul>
第2回	令和4年12月21日(水) 10時00分～12時00分	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 福祉用具貸与計画書等の分析結果(速報)について</li><li>▪ ヒアリング調査について</li><li>▪ 報告書のまとめ方について</li></ul>
第3回	令和5年3月17日(金) 15時00分～17時00分	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 報告書(案)について</li></ul>

## 1.4 研究部会の設置・開催

### 1.4.1 委員の構成

作業部会の委員は以下のとおりである。

#### <委員メンバー>

金子 茂稔 株式会社未来図 Labo 代表取締役  
鈴木 禎仁 株式会社ヤマシタ 営業統括部 副部長  
田中 紘太 株式会社マロー・サウンズ・カンパニー 代表取締役  
東畠 弘子 国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野 教授  
舟田 伸司 公益社団法人 日本介護福祉士会

○ 渡邊 慎一 横浜市総合リハビリテーションセンター 副センター長

○ 部長

(敬称略)(所属は令和5年3月時点)

#### <オブザーバー>

長倉 寿子 厚生労働省老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修指導官  
鈴木 達也 厚生労働省老健局高齢者支援課 係長  
野村 望 厚生労働省老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修係  
岩元 文雄 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 理事長

(敬称略)(所属は令和5年3月時点)

#### <事務局>

山本 一志 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会  
肥後 一也 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会  
福島 伴彦 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会  
池本 和樹 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会  
中村 一男 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会  
柳田 磨利子 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会  
川口 隆 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会  
谷澤 由香理 エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社  
富樫 智章 エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社  
黒岩 裕太 エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社  
柿迫 葉緒 エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社

## 1.4.2 研究部会の開催状況

研究部会は下記のとおり、3回開催した。

図表 3 研究部会の主な議題

回	開催日	議題
第1回※	令和4年7月1日(金) 14時00分～17時00分	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 事業計画(案)について</li><li>▪ 試行運用の実施概要(案)について</li></ul>
第2回	令和4年11月28日(月) 14時00分～16時00分	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 福祉用具貸与計画書等の分析結果(速報)について</li><li>▪ ヒアリング調査について</li></ul>
第3回	令和5年2月24日(金) 15時00分～17時00分	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 分析結果のとりまとめについて</li></ul>

※第1回研究部会は、一部の委員のみで開催。後日(令和4年11月1日に事業計画等の補足説明を実施したうえで、第2回研究部会を開催)